

# 全日本学童軟式野球大会小史

全日本学童軟式野球大会は昭和56年夏が第1回大会。第3回まで九州8県2枠の16チーム。第4回に27チームの4枠となったが、長崎県代表チームは九州大会で敗退した。

昭和60年第5回記念大会は全支部代表参加で勝山スポーツ少年団が参加。再び九州4枠となり、63年第8回大会から都道府県代表48チーム参加となった。

会場は第1回の東京都から、大阪、静岡、滋賀、岐阜…と持ち回り開催が、平成2年の第10回大会から野球場施設が多数ある茨城県水戸市を中心に固定化。平成7年第15回大会から日本マクドナルド(株)の協賛により、「マクドナルド・トーナメント」の冠が付いた。

また平成9年第17回大会より高円宮憲仁親王殿下から優勝杯が下賜され『高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント』として開催されることになった。

平成14年11月に親王殿下がご逝去。宮様の遺志を継いで翌年に親王妃久子殿下に全日本軟式野球連盟の名譽総裁にご就任いただき賜杯大会を続けている。

茨城県で19年間開催されたが平成21年からは東京都に戻り、開会式や一部の試合は明治神宮球場で行われており、参加数も東京と北海道が2チーム。前年度優勝(推薦)の51チーム参加で5～6日間の競技日程となっている。

全日本学童の長崎県大会は、例年五月のゴールデンウィーク開催が恒例。優勝チームが夏休みの全国大会に出場。昭和63年に始まった九州学童大会には同大会準優勝チームと三位決定戦勝者の2チームが参加していた。

その他の学童野球大会は全国各地で開催されていたが、平成8年に和歌山県高野山で始まった学童大会は小学生球児にとって良き思い出づくりを寄与すると共に仲間を思いやる心、チームワークの大切さ、強い精神力を養うと共に、野球ができるすべての環境に感謝の気持ちをもってもらうと共に、宿坊に宿泊し、小学生球児としての精神修養やスポーツマンシップの精神を学ぶ事を目的で、近畿地区周辺のチームが集って開催されていたが平成25年からは全国大会として、北は北海道から南は沖縄の代表による大会となった。

そこで平成26年からは準優勝チームが、高野山旗学童全国大会に出場することにし、ベスト4進出の2チームが九州学童大会に参加するようになった。

令和2年度(2020年)は節目の40回大会で、長崎県軟式野球連盟に登録の全チーム参加で開催することになった。

長崎県代表チームの戦績表				チーム名の○数字は出場回数	
第1回	S. 56年	チーム名不明	九州で敗退	第16回	平成8年 平山エンゼルス
第2回	S. 57年	チーム名不明	九州で敗退	【一】	16-7 (青森)堀越クラブ
第3回	S. 58年	チーム名不明	九州で敗退	【二】	9-4 (静岡)赤坂ヤングス
第4回	S. 59年	勝山スポーツ少年団	九州で敗退	【三】	1-11 (新潟)大蒲原野球スポーツ少年団
第5回	S. 60年	勝山スポーツ少年団 ②		第17回	平成9年 平山エンゼルス ②
	【二】	0-5 (三重)有馬クラブ		【一】	11-2 (東京東)桃一小野球クラブ
第6回	S. 61年	相浦少年野球クラブ	九州で敗退	【二】	6-4 (青森)梅沢小クラブ
第7回	S. 62年	大村クラブ	九州で敗退	【三】	4-9 (茨城)球愛クラブ=優勝
第8回	S. 63年	旭クラブ		第18回	平成10年 大村クラブ ②
	【二】	3-4 (岐阜)小泉クラブ		【一】	1-2 (栃木)横倉学童
第9回	平成元年	旭クラブ ②		第19回	平成11年 長崎ファイターズ ③
	【二】	9-8 (徳島)藍住北キングススポーツ少年団		【二】	4-14 (静岡)函南少年野球クラブ
	【三】	2-12 (兵庫)桜台ハンターズ		第20回	平成12年 戸尾ファイターズ
第10回	平成2年	大村クラブ		【一】	10-3 (茨城)水戸市野球スポーツ少年団
	【一】	4-5 (東京)大森ジュニアラッキーズ		【二】	0-7 (岐阜)SS昭和クラブ
第11回	平成3年	日野クラブ		第21回	平成13年 長崎ファイターズ ④
	【一】	0-7 (福島)常盤軟式野球スポーツ少年団		【一】	7-6 (奈良)西方パワーズ
第12回	平成4年	横尾小クラブ		【二】	2-8 (鳥取)上道チャイルド=準優勝
	【一】	9-8 (東京)ニ小ブラックイーグルス		第22回	平成14年 戸尾ファイターズ ②
	【二】	4-3 (岐阜)八百津レインボース		【一】	3-5 (東京第1)葛飾アニマルズ
	【三】	4-5 (島根)乃木ライオンズ=優勝		第23回	平成15年 戸尾ファイターズ ③
第13回	平成5年	長崎ファイターズ		【二】	5-4 (北海道南)砂川スティッカーズ
	【一】	7-2 (富山)堀岡スポーツ少年団		【三】	7-4 (和歌山)西脇少年野球クラブ
	【二】	1-6 (京都)岡屋スポーツ少年団=優勝		【準々】	6-17 (鹿児島)伊敷台ホームランズ
第14回	平成6年	横尾小クラブ ②		第24回	平成16年 西諫早少年野球団
	【一】	10-4 (愛知)豊田虎		【一】	0-7 (富山)古里レッドスターズ
	【二】	6-5 (山形)若浜野球スポーツ少年団		第25回	平成17年 上長崎少年ウィンズ
	【三】	2-3 (広島)鞆古城クラブ		【一】	8-12 (東京東)竹仲
第15回	平成7年	長崎ファイターズ ②		第26回～第39回大会の優勝チーム画像は全日本軟式野球連盟ホームページより引用	
	【二】	5-4 (京都)向陽オックス			
	【三】	4-7 (大阪)熊取ベアーズ=優勝			

第26回 平成18年 大村クラブ ③

- 【一】 6-2 (茨城)荻崎ファイターズ
  - 【二】 12-5 (岐阜)三里
  - 【三】 1-4 (大阪)長曾根ストロングス=準優勝
- 長曾根は前年度優勝で推薦出場



第27回 平成19年 大村クラブ ⑤

- 【一】 5-12 (岐阜)川島クラブ



第28回 平成20年 西諫早少年野球団 ②

- 【一】 1-5 0-0で延長八回:(和歌山)西脇少年



第29回 平成21年 盈科少年軟式野球クラブ

- 【二】 4-2 (青森)板柳東BBC
  - 【三】 1-0 [七回裏サヨナラ](東京第2)堤若草
- 【準々】 2-4 (滋賀)多賀少年野球クラブ=準優勝



第30回 平成22年 戸尾ファイターズ ④

- 【一】 13-1 (鳥根)長久野球スポーツ少年団
  - 【二】 8-1 (岐阜)真正野球クラブ
  - 【三】 8-4 (滋賀)愛東スポーツ少年団
- 【準々】 3-6 (宮崎)五十市タイガース



第31回 平成23年 西諫早少年野球団 ③

- 【一】 2-8 (秋田)新山グリッターズ



第32回 平成24年 戸尾ファイターズ ⑤

- 【一】 1-3 (石川)富陽学童クラブ



第33回 平成25年 波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ

- 【一】 2-4 (栃木)陽南学童野球クラブ



第34回 平成26年 波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ②

【一】 5-6 (島根)全揖屋ジュニア



第35回 平成27年 セインツジュニア

【一】 0-5 (大阪)長曾根ストロングス=優勝



第36回 平成28年 戸尾ファイターズ ⑥

【一】 5-4 (東京第2)クラウン  
【二】 3-2 (奈良)二上スポーツ少年団  
【三】 1-3 (神奈川)富士見台ウルフ少年



第37回 平成29年 波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ③

【一】 0-17 (北海道南)東16丁目フリップパーズ=優勝



第38回 平成30年 戸尾ファイターズ ⑦

【一】 1-0 成徳イーグルス(兵庫)  
【二】 3-2 (延長8回)永田台少年野球部(神奈川)  
【三】 2-4 富田エンゼルス(福井)



第39回 令和元年 南長崎マリナーズ

【一】 2-3 木田ネイビーブルーズ(福井)  
延長 8回タイブレーク

